

平成29年度神奈川県相談支援従事者現任研修
《事前課題記入および提出要領》

3日間の研修では、全体講義とグループ演習を重ね、日々の相談支援業務を振り返り、相談支援専門員に求められる技術の再確認を行います。その際皆さんにご提出していただいた事前課題を使用します。また研修途中の課題にもつなげますので、必ず別紙「事前課題提出様式」に記入し、期日までに、ご提出ください。

なお、この演習は、個別の事例検討を行うものではありません。ご自身の事例を通して個別支援、チームアプローチ、コミュニティワーク技術の確認を行うものですので、ご了解ください。

＜事前課題提出様式について＞

- 1 個別支援において心がけていること及び支援に係る共通の認識を図るため、チームアプローチにおいて必要だと思ふことをお書きください。
- 2 事例は、個別支援及びチームアプローチにおけるあなたの考えを明らかにするために記入するものです。ひとつの事例を「個別支援の視点」と「チームアプローチの視点」の二つの視点から記入してください。

事前課題のねらい

●●個別支援の視点●●

相談支援専門員として日々実践されている個別支援業務を振り返り、「個別支援プロセスの理解と専門性の確認」の検証を行います。

具体的事例を通して、個別支援の視点をグループ内で発表し、個別支援のプロセス（インタビュー、アセスメント、モニタリング等の各局面の役割）を理解しながら実践されているかなど、相談支援専門員として求められる相談支援の大切な視点を共有することとします。

■■チームアプローチの視点■■

チームアプローチの視点で「個別支援」と「地域支援」における具体的な取り組みを提案できるよう、「チームアプローチを実践するための技術と能力」の検証を行います。

具体的な取り組みを通して、チームアプローチに必要な視点をグループ内で発表し、できているところや自分自身の課題を振り返るとともに、新たに気づいた点を共有することとします。

《参考》中間課題（研修2日目に説明します）

事前課題をグループで検討すると同時にスーパーバイズを受けながら、個別事例から見えてくる共通課題を共有し、新たな「支援の視点」を探ります。自分はどう関わるのか。あなたが支援する対象者が、それぞれの地域で自立した生活を送るために具体的に取り組むことについて、「個別支援」と「地域支援」について、具体的な取り組みの方策を提案します。

★事前課題の「事例の記入のポイント」は別紙のとおりです。

裏面もあります

<提出された課題の取り扱いについて>

- 提出していただいた課題は、演習を通して他のメンバーと共有されることになります。
- 提出する事例は、個人が特定されないよう十分に配慮してください。氏名や関係機関名等についてはアルファベット（Aさん、B事業所、C医院等）で表記してください。
- 当研修で知り得た情報は、他のいかなる場でも口外しないこと。配布された資料は、当研修の演習のみに使用し、演習終了後事務局で回収し処分します。

<提出期限と提出方法について>

■提出するもの

別紙 事前課題を2部（演習講師用・事務局用）郵送してください。

また、研修初日に6部（グループメンバー用）を忘れずに持参してください。

（センター内ではコピーできませんので、ご準備ください）

■提出期限

平成29年9月20日（水）必着

■提出方法

下記の送付先まで郵送のみの受付です。FAXは不可です。

■事例の取り扱い

提出していただいた課題は、事前に各グループの演習講師に見ていただきますので、**必ず期日までに提出してください。提出がない場合は、研修を受講していただけませんので、十分にご注意ください。**

提出された事例は、研修終了後事務局ですべて回収し、シュレッダー処分します。

■様式について

様式は1部を郵送いたしますので必要枚数をコピーしてお使いください。

また当センターのHPよりダウンロードもできます。

<送付先> 〒241-0815

横浜市旭区中尾1-5-1

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 山田 宛

<問合せ先> 実践教育センター 現任研修担当 山田

TEL 045-366-5871(直通)

E-mail yamada-a.j@kuhs.ac.jp